

令和4年8月

四国卓球選手権大会  
参加者の皆様へ

四国卓球連盟  
会長 鶴岡 勝郎  
(公印省略)

## 四国卓球選手権大会（カデット以下の部）の感染防止策について

平素は本連盟の事業にご支援、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大が今なお続く中、10月の四国卓球選手権大会（カデット以下の部）の開催にあたり、飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策を今まで同様に実践していく必要があります。一人ひとりの行動が、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐことができることをしっかりと念頭に置いた上で、大会参加での感染防止策について、ご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策(最新版)により、随時更新して参ります。今後も、感染状況により変更する場合がありますので、ご周知ください。

### 1. 本大会について

- (1)本大会は、無観客で実施します。本大会参加者は、選手・監督・**コーチ**・アドバイザー・大会役員・帯同者のみとします。帯同者については、ホープス以下は1家庭につき**2名**。カデットは1チームにつき**2名**の入館を認めることとします。
- (2)会場には、体温計や手指消毒液等、感染症予防の対策を準備しておきます。
- (3)ボールは、ニッタク 3 スタープレミアムクリーン以外については、1試合ごとに取り替えます。

### 2. 参加選手の不出場日の入館について

- (1)小学生の試合は、15日団体戦、16日個人戦、**中学生の試合は16日個人戦**となります。どちらか一方にしか出場していない選手が、引率の関係で、やむを得ず待機しなければならない場合は、例外的に入館を認めます。
  - ・15日の団体戦のみ出場の選手は、16日も入館可
  - ・16日の個人戦のみ出場の選手は、15日も入館可
- (2)その際にも、距離を保つなど感染防止対策を講じることに加えて、応援等を行わないこととします。

## 2. 参加者が遵守すべき事項について

- (1)以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせてください。
  - ①体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - ②同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
  - ③過去10日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2)別紙の「連絡先および健康状態申告のお願い」を提出してください。未提出の場合、参加を控えていただきます。
- (3)大会中に、(1)①の症状が見られた場合は、途中棄権をしていただきます。
- (4)マスクを必ず持参してください。試合中以外(審判・応援・待機・休憩等)は、マスクの着用や咳エチケットの徹底をお願いいたします。
- (5)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を徹底してください。
- (6)他の参加者との距離(できるだけ2m以上)を確保してください。
- (7)会場で大きな声で会話、応援等をしないようにしてください。
- (8)トイレを済ませた後は、必ず、手指を丁寧に洗い、自分のハンカチ等できれいに拭き取るようお願いいたします。
- (9)飲食時については、食事前後の手洗いを徹底してください。食事中は飛沫を飛ばさないよう、席は向かい合わせにならないように、静かに昼食を食べる等の徹底をお願いいたします。
- (10)試合が終了した選手は可能な範囲で速やかに帰宅してください。
- (11)大会終了後10日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各県協会に速やかに濃厚接触者の有無等について報告をしてください。
- (12)大会前後のミーティングや食事においても、3密を避けるようお願いいたします

## 3. 試合を行う際の留意点について

- (1)個人戦のベンチコーチは1名です。選手・審判・ベンチコーチ以外は、2階観客席よりご観戦ください。
- (2)タオルを卓球台の脚に掛けたりせず、自分の持ち物はベンチに置いてください。6ポイント毎のタオルを使用する場合は、ベンチに戻ってご使用ください。
- (3)タオルの共用や飲料の回し飲みはしないでください。
- (4)試合をする人も審判をする人も、できる限り素手で卓球台に触れないでください。各コートにアルコール消毒(手指)、ティッシュ、ゴミ袋を準備しておきますので、

必要に応じてご利用ください。

(5) 審判をする人は、各コートで手指消毒をしてからカウンターを使用してください。

(6) シューズの裏を手で拭くことはしないでください。

(7) 握手などの身体を接触させる挨拶は行わないでください。

※本大会において、3密が重なる場を可能な限り少なくし、  
感染拡大をしないよう、みんなで協力しましょう。